

はじめに

千葉県では平成27年5月に特別支援学校における一貫した系統的・体系的キャリア教育の推進について協議し、本県特別支援教育の振興に寄与することを目的として「キャリア教育推進協議会」を立ち上げました。

7年目を迎え、現在では各学校が清掃検定部会、パソコン検定部会、接客サービス検定部会の3つの検定部会が開催する各検定を核に日々の教育活動においてキャリア教育を推し進めています。

令和2年度は清掃検定部会の「県検定」はコロナ禍により開催することができませんでしたでしたが、パソコン入力検定や接客サービス検定とともに各学校で実施する方法で開催していただきました。

また令和3年度は、清掃検定部会の「県検定」も部会長をはじめ各委員の方々の努力と工夫、会場校の千葉市立高等特別支援学校の御協力のもと2年ぶりに開催することができました。このようにコロナ禍においても、本協議会の歩みを止めることなく、その目的を果たすことができましたのも各部会並びに各実施校の皆様の御理解と御協力によるものと心よりお礼申し上げます。

さて、千葉県では検定のための検定ではなく、各技能検定を通して、「お掃除好き、パソコン好き、接客好きの子どもを育てる」ことで幼児児童生徒の主体的な学びを推進するとともに、自己肯定感を育み、自己実現のツールとなってほしいという願いを大切にしていきたいと思います。

今年度、これまで県内の特別支援学校で実践されているキャリア教育の実践をまとめ「特別支援学校授業力向上実践事例集第2号」として発刊することができました。多くの皆様に御高覧いただき、忌憚のない御意見、御感想をお寄せいただけると幸いです。

終わりに、本実践事例集の発行に当たり、御尽力いただきました千葉県教育委員会教育振興部特別支援教育課をはじめ、実践をお寄せいただきました各特別支援学校関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

令和3年度千葉県特別支援学校キャリア教育推進協議会 会長 松本 巖
(現千葉県立野田特別支援学校 校長)